



区報 ふんきょう

発行/文京区
 編集/オリンピック・パラリンピック
 担当
 〒112-8555 文京区春日1-16-21
 代表 ☎ (3812) 7111
<http://www.city.bunkyo.lg.jp/>

オリンピック・パラリンピック

こども新聞

2020年(令和2年)
 10月1日 第9号

各面の内容

2,3 カヌーってすごい



4 「ドイツ」を調べてみた

オリンピック・パラリンピックこども新聞は、こどもたちが記者になって取材や写真撮影に取り組み、みなさまにおとどける新聞です。

【おこわり】 第9号は新型コロナウイルスの感染拡大前に取材した記事を含め構成しました。

夢へ努力 今しかない



オンラインの取材に丁寧に答える河合純一さん

こども記者は8月3日、オンラインにより、視覚障害を持つ元競泳選手で日本パラリンピック委員会(JPC)委員長の河合純一さんにお話しを聞きました。

日本パラリンピック委員会委員長 河合純一さん

三日ぼろろでも成長
 特に印象に残ったことは「口だけの人よりも、1日でもいいから(何かチャレンジした方が)三日ぼろろでも、絶対に成長してると思う。だから、1日でも頑張れたことをほめてあげてください。次は2日いけるように頑張ろうと思えたらいいだけだから」という話です。
 【小4/木村夏央】

パラ6回でメダル21個
 河合さんは約45分間、こども記者のいろいろな質問にとてもいいいにわかりやすく答えてくださいました。17歳からパラリンピックに6回も出て、金メダル五つを含む計21個ものメダルを獲得しました。目が見えたら旅行や夕日を見に行きたいそうです。
 【小4/松本匠平】

見えなくなっただけ
 河合さんの一番すごいと思ったところは「目が見えなくなっただけで、目が見えなくなっただけでしょ」としか思わなかったことです。他の選手の動きを見て、まねするのができな



2004年のアテネ・パラリンピックで金メダルを取り、雄たけびを上げる河合純一さん(毎日新聞提供)

失敗は成功への道
 1年延期された東京パラリンピックの成功のために尽力されている河合JPC委員長は、競技連盟を通じて選手のアンケートを取り、メンタルサポートのセミナーを行うなど、新型コロナウイルス感染拡大前の状態に戻れるよう努力している。「感染対策をやっていし、できるはん囲でサポートしたい。何より、パラリンピックを日本や世界の人人々に楽しんでもらいたい」と来年への思いを語ってくれた。「夢への努力は今しかない、失敗は成功のために通らなければならない道」と子どもたちへ熱いエールを送ってくれた。
 【小6/宇高愛結】

記録にも記憶にも残る
 河合さんは中学生で目が見えなくなりましたが、それでも視力が悪かったから、ただ見えなくなっただけと考えたそうです。とても心が強
 い人です。パラリンピックで緊張した時は笑顔を作ったり、観客に手を振ったりして緊張を和らげたそうです。記録を残した選手は私たちの記憶にも残る立派な方でした。
 【小5/藤野琴子】

進む道はたくさんある
 河合さんはJPCの委員長です。お仕事は毎朝9時半に出勤し午後6時半まで。国のスポーツ関連の方との打ち合わせや、計画作りなどです。趣味の読書は携帯電話の「読み上げ機能」を使い、みんなが読めないほどの速さで読むそうです。目が見えなくても進む道はたくさんあることを教えてもらいました。
 【小4/岡田虹心】

もし見えなくなったら
 私はちょうど河合委員長が全盲になられた頃と同じ年なので重ねて考えてしまいました。今は部活で物語を書き、百人一首をしています。もし目が見えなくなったらと想像してみると恐怖です。でも、河合委員長がおっしゃるように仲間、家族、良い指導者がいたら頑張れるかとも思いました。
 【中3/今津知萌世】

健常者と同じ接し方で
 河合さんは「君の隣臓をたべたい」という映画がすごいです。ヒロインが重い病気にかかっていると知っても、変わらない態度で接する主人公を好きになるというお話です。障がいのある人と接するときは、なるべく健常者とおなじようにして、と言いたいのかもかもしれません。
 【小6/水島希】

ゆめをあきらめず
 かわいさんはだんだん目が見えなくなりました。でも、目が見えなくなっただけで、他の部分は何かわかっていないのだからと考えて、先生や水泳の選手になるというゆめをあきらめませんでした。かわいさんは自分が弱いと知っているぶん、他の人よりも強いかもしれないと話していました。
 【小5/N・B】

生徒が手作り金メダル
 河合さんは中学校の教師をしていて時に出場したシドニー・パラリンピックが一番印象に残っています。生徒たちは「金メダルを取らないと教室に入れてあげない」と言って応援したそうです。金メダルを取って教室に入ると、生徒たちは自分たちで作った金メダルをプレゼントしてくれました。
 【小6/石井たまき】

プールに入ることが一番
 河合純一さんは「金メダルを取ったときには表現できないほど嬉しく、応援してくれた人たちへの感謝の気持ちがあった。競技場で人と交流を深めることも楽しい。でも、プールに入ることが一番。僕の中では、プールに入るだけでも、生きてて良かったぐらいの気持ちになれるから」と、嬉しそうに話していた。
 【小5/細澤東希】

夢は2020パラ大会 大成功
 パラリンピックに出場した元選手が日本パラリンピック委員会委員長に就任したのは河合さんが初めてです。次の夢は、東京2020パラリンピックの大成功です。「多くの人にパラリンピックの魅力を伝え、大会の開催中には、選手の活躍を目で見て楽しんでもらいたい」と話していました。
 【小4/柴本優日】

教育プログラム
 [ようい、ドン!]

東京アスリート認定選手（東京都事業）
 東京2020オリンピック・パラリンピックをはじめとする国際大会への出場が期待される東京の選手を認定し、支援する制度。強化費の補助などを行うとともに、都のホームページなどで競技活動を紹介することで、東京育ちのアスリートに対する関心を高め、東京2020大会のムード盛り上げを目指しています。

カヌーってすごい!!



子ども記者の前でカヌーに乗ってみせる浅見明太選手

90秒で300メートルを川下り

この日も記者は2月9日、青梅市の多摩川でカヌーの浅見明太選手取材しました。浅見選手は東京アスリート認定選手で、カヌーシラームJAPAN CUP2018第5戦（若手）で3位に入賞しました。東京大学大学院に所属しており、文京区にもゆかりの選手です。

東京アスリート認定選手 浅見明太選手

カヌーは青梅などで多く体験会などが行われています。まだよく知らない人も多いと思うので新聞などを通してさまざまな人と交流していくことが大事だと思います。カヌーは慣れや体幹が大切

慣れ、体幹が大切

でした。浅見選手はとても上手だったので、練習を小さいころからたくさんしてきたのでしょ。自分がやっている野球に、バランスや体幹をいかに鍛えているか。

（中1/正木侖旺）

多摩川は流れが緩いので、上流でターンなどの基本的な動きの練習をします。ターンは腰の力が強くなければできないものです。試合では300メートルを半分ほどで

体力勝負の競技

下るので、短時間でも相当体力が必要だと思います。パドルやカヌーはカーボンで作られており、それほど重くはなく、パドルは子ども記者たちも持つことができますし



地上でカヌーに乗ってみる子ども記者

講道館柔道創始者・嘉納治五郎 / 1940年・幻の東京大会

ミニ企画「文の京の五輪外伝」



オリンピックを応援

ぼくは「文京ふるさとれきし館」に行きました。館内には江戸時代の町並みの模型やかっちゅうなどがおかれていました。館内のミニ企画としてオリンピックのしりょうがありました。文京区は日本で初めて、学校でサッカー、野球、柔道をしたそうです。1940年の東京オリンピックは日中戦争でできませんでした。東京オリンピックをおうえんしたいです。

（小5/大迫輝）

幼少期から勉強

文京ふるさと歴史館に行き、ミニ企画「文の京の五輪外伝」を見学しました。オリンピックや嘉納治五郎について学んだのは初めてでした。嘉納治五郎は、英語を幼少期から学び、海外とのコミュニケーションを取り、信頼を築いていきました。幼少期に行っていたことが大人になり、役に立つこともあるため、今は行うべきことをしっかり行うことが大切だと思います。

（中1/正木侖旺）

開権を返上した1940年の幻の東京オリンピックに関わった嘉納治五郎は神戸出身でしたが、上京し東大に入学。体が弱くいじめられたため、柔術を始めました。その後、相手を敬うことを重視した「柔道」の創

道徳面で発展を

文京ふるさと歴史館を2月22日に訪問しました。今回はミニ企画「文の京の五輪外伝」を見学しました。文京区は講道館、野球殿堂博物館、日本サッカーミュージアムがあり、この3つのスポットに深く関係があります。文京区がこのように有名なスポーツの発祥に関わっていたことを知り、そうした場所を訪れた

始者となりました。また、嘉納は英語が堪能で柔道を世界に広める活動をしたり、アジア初回の国際オリンピック委員会の委員になったりしました。私は空手道を習っていますが、相手を大切にする考え方は共通です。64年の東京大会では小石川連動場や日本大学豊山高校などが練習会場になりました。文京区がスポーツにゆかりがあることを知ってもらえたら、外国人との交流も増えるのではないのでしょうか。文京区は嘉納にゆかりがあり、東京2020大会では、スポーツの道徳面も発展してほしいと思います。

1940年に予定された東京オリンピックは中国と日本が戦争をしていて、オリンピックという平和の祭典ができなくなり、まぼろしになりました。かのう治五郎や幻の東京オリンピックについて知ることができてうれしかったです。東京オリンピック・パラリンピックが楽しみです。

相手を敬う

私は「文の京の五輪外伝」を取材しました。じゅう道を生み出したかのう治五郎は、小さい

（小6/小貴美佳）

文京区と深い関係

仲間と一緒に頑張れる

河合さんのこんな話が印象に残りました。（1面からつづく）

- 「自分の弱さ、辛いと思う心の両方に向き合えるから強い」 【中2/田口創冨】
- 「自分の弱さと向き合うことが強さの秘密」 【小6/田口惺那】
- 「くやしいのは、がんばって負けたから。何もせずに負けてもくやしくはない」 【小4/内田綾乃】
- 「試合などで悔し泣きをするのは自分がたくさん練習をしたから」 【小5/大迫輝】
- 「見えないからこそ見えるものがある」 【中1/久保壮太郎】
- 「夢への努力は今しかない。両目が見えなくても他は変わっていない」 【小4/小澤一葉】
- 「水泳で世界一になり、次の夢は東京パラリンピックの成功」 【小5/齋藤珀子】
- 「目が悪くてもからだは変化していないので自信をもって大会に行ける」 【小4/阪田一起】
- 「メダルを取った時とミニかんこうをした時が楽しかった時です」 【小4/豊島悠太】



子ども記者の取材を受けるヴェルテ選手

自転車競技ドイツ人金メダリスト ヴェルテ選手

ヴェルテ選手はつらかったことを「事故で仲間が車いす生活になったこと」、競技の楽しさを「練習はつらいけれど、仲間と一緒にがんばれるし、楽しい」と答えてくれました。私は仲間は大切なのだな、と改めて思いました。友達と話すのは楽しいし、仲間とはげまし合いながらなら、つらくても自分一人だけではない、と考えればがんばれます。きびしい練習を一緒にやってきたからこそ、ヴェルテ選手自身もけがはあったのに、仲間のけがのことを一番に心配できたのでしょう。それは、とても素晴らしいことだと思います。



自転車で疾走するヴェルテ選手—本人提供

文京シビックセンターに昨年12月、姉妹都市、ドイツ・カイザースラウテルン市出身の自転車競技オリンピック金メダリスト、ミリアム・ヴェルテ選手が来ました。

時速40km以上を軽々と

ヴェルテ選手はオリンピックで2回メダルをとって、2016年リオデジャネイロ大会にもドイツ代表として出場しています。競技用自転車を体験すると、ふつうの自転車よりサドルが高かったです。ハンド

ルを持つ場所などの決まりはありません。ぼくは時速32kmしか出せなかったけど、ヴェルテ選手は軽々と40km以上出していました。13歳から自転車を始めたヴェルテ選手は、カーブをまがる時の圧力が好きだそうです。すごく楽しいスポーツだとわかりました。

（小5/大迫輝）

金メダルはごほうび

ヴェルテさんは初め陸上競技をやっていましたが、自転車競技に切り替えたのは、お父さんのえいきょうでした。毎日練習しながらの生活は、とてもつらかったそう

です。こしがいたくて、朝起きられない時でも、自転車の練習をするそうです。そんな中でがんばって練習してきたごほうびが金メダルだと言っていました。選手を引退したヴェルテさんは、けいさつ官として働いています。

（小6/小貴美佳）

区の姉妹都市から

ヴェルテ選手が一番印象に残っているのは、サー・ブラッドリー・マーク・ウィギンズというイギリス人選手です。オリンピックで金5個を含む計8個のメダルを取り、いつも親切でした。ヴェルテ選手の故郷カイザースラウテルン市は文京区の姉妹都市で、ドイツの西部にあり、面積は文京区の12倍なのに、対して人口は半分です。みどころは2000年に開園した「日本庭園」の美しさだそうです。17年には、「文京座」という食事が完成しました。

（中1/久保壮太郎）

身近なこと 興味あること 調べてみました

あきらめない姿勢

陸上競技のハインリッヒ・ポポフ選手について調べました。何度かお会いしたことがあり、パラリンピックでたくさんのメダルを取っていてびっくりしたからです。カザフスタンに生まれて7歳でドイツに移住したポポフ選手は、8歳のとき、左ふくらはぎに腫瘍が見つかり膝関節から切断しています。13歳から陸上競技を始め、2004年のアテネ大会でパラリンピックに初出場し3個の銅メダル。08年北京大会は100㍎で銀メダル、12年ロンドン大会は金メダル。16年リオ大会では走り幅跳びで金メダルに輝いています。18年に引退。義肢装具士でもあります。今の私よりも小さい時に、左足を失ったのにあきらめずに活躍できたことが一番すごいと思いました。私もポポフ選手のように、何事もあきらめずに取り組んでいきたいです。

【小6 / 田口惺那】



リオデジャネイロ・パラリンピックの男子走り幅跳び（T42）で優勝したポポフ選手（中央）
—2016年、毎日新聞提供

無敵の幅跳び王者

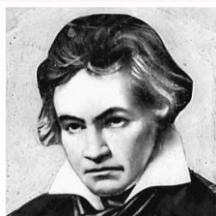


ぼくは陸上の走り幅跳びに興味があり、その中でも、ドイツのマルクス・レーム選手—写真—が好きです。ロンドンとリオのパ

ラリンピックの金メダリストです。好きな理由は、ウエイクボード練習中の事故で右の膝下を失っても、スポーツをすることをあきらめず、健常者に負けないくらいの大ジャンプをするからです。リオオリンピックの参加標準記録は8㍎15㍎ですが、レーム選手自身が持っているパラの世界記録は8㍎48㍎です。このように、レーム選手は、世界に敵がいなくらいの選手です。これからも頑張してほしいです。

【中2 / 田口創冴】

ドイツが誇る音楽家 ベートーヴェン



私は、ドイツ出身の音楽家、ベートーヴェン—肖像画—について調べました。1770年12月17日、ボンに生まれたベートーヴェンは、父に厳しいピアノの訓練を受け、努力もあって、わずか12歳でボンの宮廷礼拝堂のオルガン奏者にな

文京区は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、ドイツのホストタウンとして登録しています。子ども記者はドイツについて身近なことや興味のあることを取材しました。

ド

空手への熱意

最初に思いつくのは、僕の習っている松濤館流の空手に出稽古に大勢で来るドイツの人たちです。ドイツの人たちの空手への熱意、すごいなと思います。たまに子どももいて「もしかしたら将来、オリンピック選手になって一緒に戦うかもよ」と先生は言うけれど、「僕はなくても、この子ならあるかもな」とジロジロ見てしまいます。みんなマジメな感じで、一緒に練習すると、もっと話しくなります。でも言葉がわからない。僕のはあと、グーテンタークだけ。もっと知っていたらなと思います。ダンケシェーン。 【小5 / 今津利康】

イ

ホストタウン情報

ツ

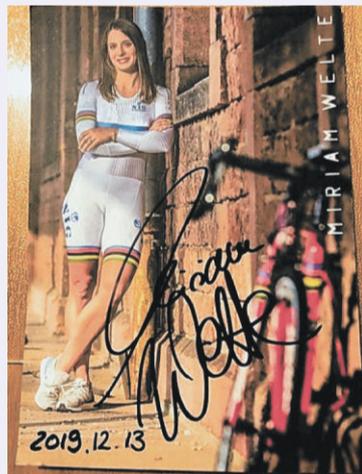


子どもとたわむれるエロイRainoさん提供

去年の夏休みにベルリンにきました。いろいろな日本と違いますが、一番驚いたのは犬です。ドイツ原産の犬はダックスフント、シェパードやポメラニアンなどたくさんいます。電車やバスの中も犬は一緒にいますが、しっかりとしつけられ人に向かって吠えませんが、ドイツにはペットショップがありません。犬の店頭販売は違法ではありませんが、倫理的に許されないという市民がデモを起こし

ペットと出会うドイツ人

たそうです。人々は動物たちと保護施設や、ブリーダーを探して出会います。犬を飼うための法律もあり、犬の学校にも通わなければならない。最近新しい犬種もでてきました。エロ(Euro)という種類で、ポプティル、ユーラシアとチャウチャウのミックスです。1987年に独立種として認定され、ファミリードッグとして人気です。私も大人になったら犬を飼いたいです。 【中2 / Raino】



初めてのサイン

私は、自転車競技のミーリアム・ヴェルテ選手から、サイン付きのポストカード—写真—をもらいました。ロンドンオリンピックのチームスプリントで優勝し、ほかの大会でも大きな成績を残しているヴェルテ選手を去年、取材しました。競技用自転車をこぐと重くてびっくりしました。カードには、選手がウェアを着て自転車と一緒に写っていて、選手のウェア姿がかっこいいです。私にとって初めてのサインだったので、もらった時はとてもうれしかったです。今は机の前の棚にかざってあります。 【小6 / 石井たまき】